

## 連結財務ハイライト

### 業績の状況

売上高 (単位: 百万円)



四半期 (当期) 純利益 (単位: 百万円)



1株当たり四半期 (当期) 純利益 (単位: 円)



純資産・総資産 (単位: 百万円)



注) 平成23年8月1日付で、普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。  
なお、平成23年7月期は、当該株式分割後の株式数で通算計算しております。

### キャッシュ・フローの状況

	当第2四半期 (平成23年8月1日から 平成24年1月31日まで)	前第2四半期 (平成22年8月1日から 平成23年1月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△125	△70
投資活動によるキャッシュ・フロー	△177	△88
財務活動によるキャッシュ・フロー	△229	△292
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,558	3,493

## 会社概要

(平成24年1月31日現在)

商号 株式会社 山王  
所在地 〒223-0052 神奈川県横浜市港北区綱島東5-8-8  
Tel.045-542-8241 Fax.045-544-0088  
代表取締役社長 甲山 文成  
設立 昭和33年8月  
資本金 9億6,220万円  
従業員数 534名 (連結)  
事業内容 コネクタ・スイッチ等の電子部品の貴金属表面処理加工、金型製作及び精密プレス加工

## 株式の状況

(平成24年1月31日現在)

発行可能株式総数 17,600,000株  
発行済株式の総数 5,000,000株  
株主数 1,892名

## 株主メモ

事業年度 8月1日から翌年7月31日まで  
定時株主総会 毎年10月中  
基準日 7月31日  
配当金受領日 剰余金の配当 7月31日  
株主確定日 中間配当 1月31日  
公告方法 電子公告の方法により行います。ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号  
日本証券代行株式会社  
同事務取扱場所 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号  
日本証券代行株式会社 本店  
上場取引所 大阪証券取引所 (ジャスダック)  
〒137-8650 東京都江東区塩浜二丁目8番18号  
日本証券代行株式会社 代理人部  
☎0120-707-843 (フリーダイヤル)

### 各種手続のお申出先

- ◎ 未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- ◎ 住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社へお申出ください。

特別口座でのお手続き用紙のご請求はインターネットでもお受けいたします。  
<http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>  
(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)

## ホームページのご案内

<http://www.sanno.co.jp/>

コーポレートサイトTOP IRサイトTOP 決算説明会などを動画配信

決算説明会や個人投資家説明会の動画と当日使用した資料を同時にご覧いただけます。

# 第54期 中間報告書

平成23年8月1日～平成24年1月31日

## CONTENTS

- ▶ 株主の皆様へ
- ▶ 連結財務ハイライト
- ▶ 事業の概況
- ▶ グローバル・ネットワーク
- ▶ 株主様アンケート結果のご報告
- ▶ 会社概要
- ▶ 株式の状況
- ▶ 株主メモ

## ▶ 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のことと拝察申し上げます。

日頃は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第54期第2四半期の事業ならびに決算の状況についてご報告申し上げます。

当期は、新たな組織体制で人件費の圧縮を図り、社内業務の見直し等による生産体制の効率化を推し進め、より一層の品質、価格、納期等への顧客満足度の向上に取り組んでおります。また、生産性向上および品質強化を前提とした、既存顧客との取引深耕、新規顧客の開拓に注力すべく営業体制の強化に取り組んでおり、当第2四半期連結累計期間において黒字化を達成しております。

今後も株主の皆様のご期待に応えられますよう取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、何卒ご理解を賜り、より一層のご支援、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

代表取締役社長 甲山 文成



## 事業の概況

Point 1

### 平成24年7月期 第2四半期の業績

世界経済は、ギリシャ等の財政問題に端を発した欧州財政危機の深刻化や米国の景気低迷などに加え、中国・インドなどの新興国においても、金融引き締め政策などによる成長の鈍化が見られるなど、世界的な景気減速懸念が高まりました。

日本経済は、海外経済の変調や歴史的円高水準の定着、タイの洪水の影響などから景気は足踏み状態に陥り、依然として景気は先行き不透明な状況で推移しました。

そうした中で、当社グループは、人件費の圧縮を図る等の徹底的な経営合理化を行い生産体制の効率化を推し進めるとともに、取引先ニーズへの対応力を強化することで顧客満足度の向上に注力し、積極的に受注獲得に取り組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,850百万円（前年同期比20.2%増）となりました。また、営業利益は203百万円（前年同期は営業損失390百万円）、経常利益は235百万円（前年同期は経常損失409百万円）、退職給付引当金戻入額の発生等により、四半期純利益は606百万円（前年同期は四半期純損失2,244百万円）となりました。

Point 2

### 今後の展開

当社グループは抜本的な事業構造改革を進行中であり、下記4点を重点施策として掲げ、実行しております。

- ・海外事業への経営資源の重点配分
- ・成長分野での新商品開発体制の強化
- ・一貫加工体制の強化
- ・生産拠点の役割の明確化と再編

海外においてのめっき需要は東アジアにあり、世界最先端のスマートフォン・タブレット端末を中心とした需要の取り込み注力してまいります。また、国内においては、当社グループの持ち味をさらに強化することで、「めっき加工の専業外注メーカー」としての地位確立を目指してまいります。

## グローバル・ネットワーク

### 世界企業 山王へ

山王は、中国、フィリピンの2国に海外拠点を有しています。中国では「スポットめっき」のラインを増設するなど、今後も経営資源を海外事業に重点配分し、積極的なグローバル展開を進めてまいります。

### ▶ 海外事業への経営資源の重点配分

- 1 国内からの移管案件に対し迅速に対応
- 2 プレスメーカーとの連携を強化
- 3 ローカリゼーションの深耕

### Sanno Philippines Manufacturing Corporation (SPMC)

海外進出第一の拠点で、マニラ近郊のGateway Business Parkに位置し、山王が誇る技術の粋を集めた工場であり世界戦略に重要な役割を担っています。

### ビジネス強化策

- 1 日系企業の困り込みを引き続き推進
- 2 タイからベトナム等への生産拠点の分散化に伴い、ラインの改造・設備投資の推進も



### 山王電子（無錫）有限公司（山王電子）

海外第二の拠点として、中国無錫に進出しました。環境問題にも配慮した最新鋭の設備を有する工場です。

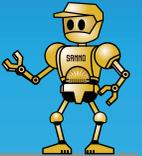
### ビジネス強化策

- 1 スポットめっき生産ラインを増設
- 2 スマートフォン対応など最新鋭の設備体制を強化
- 3 地元資本との競合を想定し、コスト管理を一層強化



## 株主様アンケート結果のご報告

第53期報告書ご送付の際に実施させていただきました「株主様アンケート」では、おかげさまで多くの株主の皆様からご回答をお寄せいただきました。ご協力、誠にありがとうございました。この度頂戴いたしましたご意見を真摯に受け止め、今後の経営やIR活動に反映させていきたいと考えております。ここに、アンケートの集計結果（一部）をご報告させていただきます。

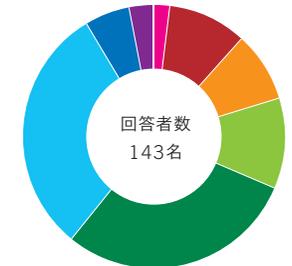


### 調査概要

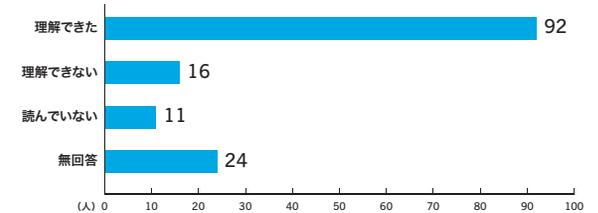
調査対象	全株主 1,921名
調査方法	決議通知に同封
調査期間	平成23年10月～平成23年11月
集計対象ハガキ	143枚

### ご回答いただいた方の年齢層

～20代	2.1%
30代	9.8%
40代	8.4%
50代	11.2%
60代	29.4%
70代	30.8%
80代以上	5.6%
無回答	2.8%



### 報告書の内容について



今回アンケートに回答いただいた方の中から抽選で20名様に薄謝を贈呈いたします。これからも報告書が株主の皆様とコミュニケーションを図る架け橋となるように誌面の充実に努めてまいります。